

報道関係者各位

平成27年11月26日

—— 中立な住まい相談員と呼ばれる資格、受験のチャンスは年3回 ——

住宅建築コーディネーター、来年の試験日は3・7・11月

一般社団法人住宅建築コーディネーター協会(大阪府大阪市、以下「JKC協会」)は、資格認定と試験実施をする厚生労働省認可(財)職業技能振興会(東京都渋谷区、以下「FOS振興会」)と協議をし、平成28年の全国統一資格試験日程を次の様に決めました。第32回：3月6日(日)、第33回：7月6日(水)、第34回：11月6日(日)に全国7都市で実施することが決定しました。

本年最後の同試験は12月6日(日)に実施されますが、同資格はJKC協会が家づくりに必要なスキームを総合的にまとめ、平成23年10月にFOS振興会の認定資格となりました。住宅建築に必要な、資金計画、住宅ローン、土地選び、設計・施工者選びなどという各分野の専門家の紹介が出来る日本で唯一の公的団体認定資格です。前回9/9実施試験の合格者を含め、現在までに約1,600名の資格者を全国に輩出しています。

今年1年間で行われた試験3回の受験者数は約500名。その全体の合格率は約59%に推移しています。昨年の同試験の受験者数は約350名に対し、合格率は約70%でしたので、前年に比べ難易度が高まっています。主な要因は、9/9試験で出題傾向の質的転換が図られ「暗記型」から「本質理解型」に改訂されたことにあると考えております。

住宅建築コーディネーターに求められる役割と責任は重大であることから、資格の質の向上と厳格化を進めている一方で、特に志しの高いと考えられる試験策講座(教室型の認定講習、又はweb型のEラーニング)を修了した受講者に対し、難易度の高い試験をサポートする特典として、本試験問題50問中の5問(10点)分の実践演習がウェブ上で行える「合格支援サービス」が活用でき、同受講者に限り85%以上の合格率を目指します。

最近の同資格取得者ニーズは建築・不動産系従事者の加え、保険系のFPや住宅相談カウンター等で従事するスタッフ層にまで広がっており、その背景から、両団体では来年受験者数1,000名を見込んでいます。



全国の大手書店で掲示用ポスター

第32回 住宅建築コーディネーター 資格試験 概要 第33回は7/6(水)、第34回は11/6(日)	①日時：平成28年3月6日(日) 13:30~15:30(受付13:15~)
	②試験会場：全国7会場(北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・福岡)
	③受験料：(一般)8,500円、(学生)6,000円 ※学生証コピー提示
	④申込方法：(財)職業技能振興会 http://fos.or.jp/ に願書送付・振込。
特典/合格支援サービス(5問実践演習付) 認定講習(講師による教室型) Eラーニング(webビデオ型)	①認定講習/開催期間：平成28年1月下旬~2月下旬(東京・大阪・愛知他)
	②Eラーニング/配信期間：平成27年12月10日~試験日迄(1ヶ月間受講可)
	③受講料：28,800円(税込) ④申込：JKC協会・日建学院から。

●上記リリースに関するお問合せは



厚生労働省認可 財団法人職業技能振興会 認定委託機関

一般社団法人 住宅建築コーディネーター協会

〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3丁目5番13号 創建御堂筋ビル7F
TEL 06-4708-5308 FAX 06-4708-5309 携帯 090-7768-1297(瀧川)
URL <http://www.jkck.jp/> MAIL takigawa@jkck.jp